

監査報告書

平成 30 年 5 月 28 日

社会福祉法人絆福社会

理事長 田中 重樹 殿

監事 三好 隆夫



監事 足達 元哉



私たち監事は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

(7面)

監事監査意見書


平成 30年 5月 28日


社会福祉法人絆福社会

理事長 田中 重樹 殿

以上、平成 29 年度の社会福祉法人絆福社会の事業報告書、財産目録、貸借
対照表及び収支計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、

適正 と認めます。

監事 三好 隆夫 

監事 足達 元哉 

事 項	監 事 意 見
1. 定 款	社会福祉法改正に対応した定款と確認しました。
2. 役 員	H29年6月新評議員会後の理事会にて理事長を選出し適宜登記されていることを確認しました。
3. 理 事	理事全員が理事会への出席をなされています。
4. 監 事	監事全員が理事会への出席をなされています。
5. 理 事 会	定款に記載のとおり開催、審議されています。
6. 人事管理	介護職員の人材確保難の中、職員に欠員がでることなく適切に配置されている。外国人介護員の採用に向けて、留学生制度を利用しフィリピン人3名の取組みについては、リタイアされることの無いよう、しっかりとサポートされています。
7. 資産管理	適宜、改修等もなされ、今までと同様に、建物・備品も大切に使用されていることが認められます。固定資産管理も台帳管理されています。
8. 会計管理	設備資金借入金及び長期運転資金借入金の完済を次年度、次々年度に向かえる案件があります。借入金の返済比率下がることに期待します。 また、デイ有瀬の収支がようやく改善したところですが、継続することを期待しています。
9. 施 設 運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修は年2回受講するシステムで、内容も工夫されているので、上手く継続できることに期待します。 ・家族会や、運営懇談会を開催し、入居者・家族とのコミュニケーションを積極的に取られています。 ・認知症介護実践研修、認知症実践リーダー研修、認知症事業管理者研修等、毎年度継続して受講されている。認知症高齢者に対する処遇向上に期待します。

<p>10. 利用者処遇</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出行事を小グループで行うなど、全体的に社会との接点を持つ機会を増やされていることは好ましい事です。 ・ 職員の資質向上の勉強会も毎月なされ、ケアプランを軸に職員間のチームケアがなされています。看護、介護、また栄養との連携を図られていると評価します。 ・ 季節の食材を意識した献立は費用的にも大変なところですが、ご利用者に喜ばれる食事サービスを継続することに期待します。
<p>11. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人介護員の採用に向けて積極的な取組をされています。EPA、留学生、実習生等、新たな仕組みが構築される中、良い人材が確保できることに期待します。